

2024 事業年度

第56期 $\left(\begin{array}{l} \text{自 } 2024\text{年}4\text{月}1\text{日} \\ \text{至 } 2025\text{年}3\text{月}31\text{日} \end{array} \right)$

事業報告書

貸借対照表

正味財産増減計算書

財務諸表に対する注記

附属明細書

財産目録

収支計算書

収支計算書に対する注記

監査報告

事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日

第1 概要

2024事業年度は、事業全般にわたり計画に沿って実施することができた。

会員の加入・退会状況は、正会員3会員が加入、正会員8会員および賛助会員2会員が退会となった。また、1会員が第1種から2種に移行した。

活動状況については、精米HACCPの認定事業は、認定審査会を8回開催することができ、継続維持認定のほか、新たに3事業所（工場）を認定した。これにより3月末現在の認定は201事業所となった。

精米JASについては、認証申請があった会員事業者の書類審査、実地調査及び製品検査を行い、一般社団法人日本精米検査認証協会（以下「日精協」）の認証の可否を判断する判定委員会で審議の結果、7会員事業者が認証された。

また、教育活動については、計画したすべての集合研修会を実施することができたほか、昨年産米の高温障害を踏まえ、メーカーの協力を得て、高温障害下での搗精方法に関するWEBセミナーを開催した。

受託活動については、日精協から受託の精米JAS認証に係る評価業務のほか、精米HACCP支援、苦情処理相談、各種証明等、前年度と同程度で推移した。

調査・分析活動については、計画通り実施することができた。

研究・開発活動については、食味と搗精度の関係を分析し、結果をとりまとめ中である。

第2 組織とその運営について

1 会員の増減

区 分	2024. 3. 31現在	増 加	減 少	2025. 3. 31現在
第1種会員	2 3 5	1	9	2 2 7
第2種会員	2 8	3	0	3 1
賛 助 会 員	4 1	0	2	3 9

(1) 第1種会員

増加：株式会社九州糧販（福岡）

減少：株式会社山田屋本店（第2種へ移行・東京）、全国農業協同組合連合会
栃木県本部（栃木）、いるま野農業協同組合（埼玉）、立山酒造株式会
社（富山）、株式会社とやま食販（富山）、株式会社丸三（大阪）、株
式会社鳥取県食（鳥取）、アクト中食株式会社（広島）、鹿児島米商
株式会社（鹿児島）

(2) 第2種会員

増加：株式会社山田屋本店（第1種から移行・東京）、有限会社吉田米穀（長
崎）、有限会社谷口商店（鹿児島）

(3) 賛助会員

減少：ナショナル興業株式会社（神奈川）、株式会社テクノグレイン（福岡）

2 役員及び委員数

区 分	2024. 3. 31現在	増 加	減 少	2025. 3. 31現在
理事	1 9	1	2	1 8
監事	3	0	0	3
顧問	1	0	0	1
総務委員会	9	1	0	1 0
精米加工委員会	8	2	2	8
炊飯委員会	4	0	0	4
精米HACCP委員会	7	1	1	7

(1) 理事（敬称略）

就任（新任）

小田繁夫（株式会社サンフリース）

退任

高尾雅之（全国農業協同組合連合会）、北村龍一郎（株式会社鳥取県食）

(2) 総務委員会（敬称略）

委嘱（新任）

馬場元治（熊本パールライス株式会社）

(3) 精米加工委員会（敬称略）

委嘱（新任）

瀧川貴大（愛知県経済農業協同組合連合会）、藤田芳和（食協株式会社）

解嘱（任期満了）

渡邊康治（愛知県経済農業協同組合連合会）、大塚宜広（食協株式会社）

(4) 精米HACCP委員会（敬称略）

委嘱（新任）

鈴木嘉武（全国農業協同組合連合会秋田県本部）

解嘱（任期満了）

小崎友和（津田物産株式会社）

3 会 議

(1) 総 会

第55回定時総会

日 時 2024年6月10日（月） 13：30

場 所 ロイヤルパークホテル 2階「春海」

議 事

第1号議案 2023事業年度事業報告及び決算報告に関する件

（事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表
に対する注記、附属明細書、財産目録、収支計算書、収支計
算書に対する注記、監査報告）

第2号議案 2024事業年度事業計画に関する件

第3号議案 2024事業年度入会金及び会費の納入並びに収支予算、役
員報酬に関する件

第4号議案 任期満了に伴う役員選任に関する件

講 演

「米のアミロースのビックデータから見えたもの」

本会顧問・農学博士・元北海道大学農学研究院教授 川村 周三 氏

(2) 理事会

第1回（ウェブ会議）

日 時 2024年5月13日（月） 13：00

場 所 食糧会館 5階 「A会議室」

議 事

【決議事項】

第55回定時総会提出議案について

第1号議案 2023事業年度事業報告及び決算報告に関する件

(事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録、収支計算書、収支計算書に対する注記、監査報告)

第2号議案 2024事業年度事業計画に関する件

(注記：本件は3月29日の理事会で承認済み)

第3号議案 2024事業年度入会金及び会費の納入並びに収支予算、役員報酬に関する件

(注記：本件は3月29日の理事会で承認済み)

第4号議案 任期満了に伴う役員選任に関する件

【報告事項】

① 常任理事（会長・副会長・専務理事・常務理事）の職務執行状況について

② 会員の入会について

第2回

日 時 2024年6月10日（月）14：10

場 所 ロイヤルパークホテル 2階「春海」

議 事

【決議事項】

常任理事の選定に関する件

第3回（ハイブリッド会議）

日 時 2024年11月22日（金）13：00

場 所 食糧会館 5階A会議室

議 事

【決議事項】

① 2024事業年度上期事業報告に関する件

② 2024事業年度上期収支決算報告に関する件

【報告事項】

① 常任理事（会長・副会長・専務理事・常務理事）の職務執行状況について

第4回（ハイブリッド会議）

日 時 2025年3月27日（木） 13：00

場 所 食糧会館 5階 「A・B会議室」

議 事

【決議事項】

- ① 2025事業年度事業計画（案）に関する件
- ② 2025事業年度収支予算（案）に関する件
- ③ 2025年6月までの運営（案）に関する件

【報告事項】

- ① 2024事業年度事業進捗状況に関する件
- ② 2024事業年度収支に関する件
- ③ その他

(3) 監事会

第1回

日 時 2024年5月13日（月） 11：30

場 所 食糧会館 7階「本会会議室」

議 事

2023事業年度事業報告及び決算報告に関する件（事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録、収支計算書、収支計算書に対する注記）

第2回

日 時 2024年11月22日（金） 11：30

場 所 食糧会館 7階「本会会議室」

議 事

- ① 2024事業年度上期事業報告に関する件
- ② 2024事業年度上期収支決算報告に関する件

(4) 総務委員会

第1回（ウェブ会議）

日 時 2024年11月5日（火） 13：00

場 所 食糧会館 5階「A会議室」

議 事

- ① 2024事業年度上期事業報告について
- ② 2024事業年度上期収支決算報告について
- ③ その他

第2回（ハイブリッド会議）

日 時 2025年3月18日（火） 13：00

場 所 食糧会館 5階「A会議室」

議 事

- ① 2024事業年度事業進捗状況について
- ② 2024事業年度収支見込みについて
- ③ 2025事業年度事業計画（案）について
- ④ 2025事業年度収支予算（案）について
- ⑤ 2025年6月までの運営（案）について

（5）精米HACCP委員会（ウェブ会議）

日 時 2025年3月28日（金） 13：30

場 所 食糧会館 7階「本会会議室」

議 事

- ① 精米HACCP業務の現況報告について
- ② 継続維持審査の変更点について

（6）賛助会員会議

日 時 2024年6月27日（木） 12：00

場 所 株式会社諸長 埼玉精米工場「会議室」
埼玉県大里郡寄居町大字桜沢1756-4

議 題 2024事業年度事業計画

工場見学 株式会社諸長 埼玉精米工場

第3 事業

1. 精米JAS認証申請の促進

（1）事業計画

昨事業年度は、日本精米検査認証協会に対し、8会員事業者から認証申請があり、認証に係る審査が開始された。本事業年度も会員の理解を得ながら、精米JAS認証申請の促進を図る。

（2）事業報告

昨年度に認証申請があった8会員事業者の書類審査を行い、そのうち7会員事業者の現地調査と製品検査を行った。6月6日開催の日精協の判定委員会で審議した結果、7会員事業者すべてが認証され、初の認証事業者誕生となった。その後、2会員事業者（3精米工場）から認証申請があり、書類審査を行っているところである。

2. 精米HACCP認定業務と継続維持審査

（1）事業計画

(1) 精米HACCPの認定

精米HACCP認定規程に基づき、精米HACCPの認定を行う。

(2) 精米HACCPの継続維持審査

認定工場の継続維持審査を行う。

(2) 事業報告

認定審査会を開催し、以下の事業所を認定した。

① 精米HACCPの認定

第3回 2024年 8月28日 2法人・ 2事業所

第8回 2025年 3月25日 1法人・ 1事業所

② 精米HACCPの継続維持認定

第1回 2024年 5月29日 12法人・ 12事業所

第2回 2024年 7月 2日 27法人・ 27事業所

第3回 2024年 8月28日 27法人・ 34事業所

第4回 2024年 9月27日 20法人・ 20事業所

第5回 2024年11月13日 10法人・ 10事業所

第6回 2024年12月19日 30法人・ 30事業所

第7回 2025年 2月27日 32法人・ 34事業所

第8回 2025年 3月25日 29法人・ 29事業所

3. 精米HACCP認定基準の見直し

(1) 事業計画

認定事業開始以来、これまでの認定事業所は200工場を超え、継続維持認定が中心となるが、認定事業は本年が9年目に入ることから、より高度なHACCP対応が実践できるよう、継続維持審査基準の見直しを行い、認定工場の改善活動の高度化を図る。

(2) 事業報告

3月28日に開催した精米HACCP委員会で見直し案が了承され、翌事業年度から適用することとなった。

4. ニッポンフードシフトの取組み

(1) 事業計画

農林水産省が進めている「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」に参加し、若い世代に、精米工業の世界を通して、これからの食としての米について気づきと意思を発信してもらう。

(2) 事業報告

宇都宮大学農学部に参加・協力を得て、学生に精米工場を見学体験してもらい、

精米として製品化されるまでの加工現場から何を実感したのか、彼らの率直な思いを、SNS（YouTube、Instagram、X（旧Twitter））アカウントを取得し、下期に動画配信を始めた。

5. 教育活動の充実

（１）事業計画

（１）研修会・講習会

- ① 精米検査研修会（初級）
- ② 米穀検査技術研修会（中級）
- ③ 精米JAS講習会
- ④ 精米HACCP研修会
- ⑤ 米飯食味評価研修会
- ⑥ 精米工場見学勉強会
- ⑦ 新人向け基礎スキル勉強会
- ⑧ 精米工場防虫管理担当者養成研修会
- ⑨ その他、会員のニーズに基づく研修会等

（２）通信教育

- ① 精米検査技術講座（初級）
- ② 精米工場製造技術講座（初級）
- ③ 精米工場管理技術講座（初級）
- ④ 米飯食味評価技術講座
- ⑤ 苦情処理対応講座
- ⑥ 精米HACCP講座
- ⑦ 精米工場有害生物対策講座

（２）事業報告

① 以下の研修会等を実施した。

ア 精米検査研修会（初級）

第108回 2024年7月 8日～10日 修了者：63名

第109回 2025年1月20日～22日 修了者：22名

イ 米穀検査技術研修会（中級）

第39回 2024年7月10日～12日 修了者：20名

第40回 2025年1月22日～24日 修了者：10名

ウ 精米JAS講習会

2024年5月9日～10日 参加者：19名

2024年9月5日～6日 参加者：12名

エ 精米HACCP研修会

第20回 2024年 6月13日～14日 参加者：46名

第21回 2024年11月 7日～ 8日 参加者：32名

オ 米飯食味評価研修会

第22回 2024年8月 1日～ 2日 参加者：8名

第23回 2025年2月13日～14日 参加者：6名

カ 精米工場見学勉強会

2024年11月12日 参加者：28名

キ 新人向け基礎スキル勉強会

2024年5月17日 参加者：34名

ク 精米工場防虫管理担当者養成研修会

2024年4月19日 参加者：31名

ケ WEB特別セミナー「高温障害における精米加工のポイント」

2024年9月26日 参加者：119名

- ② 通信教育は9月より開始し、「精米検査技術講座」「精米工場製造技術講座」「精米工場管理技術講座」「米飯食味評価技術講座」「苦情処理対応講座」、「精米HACCP講座」「精米工場有害生物対策講座」の7講座で29名が受講した。

【これまでのライセンス制度による有資格者】

ライセンスの名称	人 数
精米検査技術者	5,082
米穀検査主任技術者	659
米穀検査上級技術者	33
精米工場製造技術者	468
精米工場製造主任技術者	27
精米工場管理技術者	245
米飯食味評価士	465
上級米飯食味評価士	1

6. 受託活動の推進

(1) 事業計画

(1) 会員相談

会員からの問い合わせや相談について調査・分析し、結果報告書を発行する。

(2) 精米JAS認証に関する評価業務

一般社団法人日本精米検査認証協会の委託を受け、精米JAS認証に係る審査等評価業務を行う。

(3) 精米HACCP支援

精米HACCP認定取得をめざす会員の要請に基づき、必要な支援を行う。

(4) 米飯食味評価精度試験

事業所単位で参加し、事業所の米飯食味評価の精度を判定する米飯食味評価精度試験を実施することで、事業所とパネルの食味評価の精度向上を図る。

(5) 原料等の安全確認

精米工場における原料等の安全性を確認するために検査を行い、検査報告書を発行する。

(6) 品質証明

米の品質分析を行い、分析証明書を発行する。

(7) 性能試験

機械設備や計測機器等の新型機種のパフォーマンス試験を行い、会報を通じて会員に紹介する。

(8) その他、会員の要請に応じ、精米工場に関する支援活動を行う。

(2) 事業報告

① 会員相談

消費者・実需者から会員・精米工場に持ち込まれた相談のうち、本会への相談件数は51件で、その内容は次のとおり。

相談内容	件数	相談内容	件数
(1) 精米について	35	(2) 米飯について	14
① 精米への異物混入	18	① 異物	10
② 害虫及び防除対策	8	② 米飯の変色	1
③ 精米の変色	4	③ 食味	3
④ 異臭米	4	④ 害虫	0
⑤ その他	0	(3) その他	2

② 精米JAS認証に関する評価業務

認証申請があった10会員事業者の書類審査を行い、7会員事業者について実地調査と製品検査を実施し、結果を日精協に報告した。

③ 精米HACCP支援

会員からの要請を受け、6会員について、精米HACCP取得に向け支援を行った。

④ 米飯食味評価精度試験

15社の参加申し込みがあり、試験結果は「精米工業」No.326（2025年7月号）に掲載予定である。

⑤ 原料等の安全確認

玄米、精米及び糠の放射能スクリーニング検査を試料数7点について実施し

たところ、いずれも基準値を下回るものであった。

⑥ 品質証明

22 会員から品質分析の依頼があり、78 の試料について分析し、証明書を発行した。

⑦ 性能試験

現在まで性能試験の実施はない。

⑧ その他

「中小企業等経営強化法」の生産性向上設備の証明団体として92 件の証明書を発行した。

7. 調査・分析活動の実施

(1) 事業計画

(1) 玄米品位調査

2024 年産米の地域別・品種別玄米の品質分析を行い、会員に提供する。

(2) 精米品位調査

2024 年産米の地域別・品種別精米の品質の情報収集を行い、会員に提供する。

(3) 精米加工性調査

会員工場で搗精試験を行い、2024 産米の地域別・品種別の精米加工性に関するデータを会員に提供する。なお、本年度からもち米についても調査する。

(4) 大型精米工場の実態調査

大型精米工場の製造経費等の実態を把握し、工場経費の分析を行う。結果は会報に掲載するほか、調査協力工場には自工場の分析結果を提供する。

(5) エネルギー使用状況調査

大型精米工場のエネルギーの使用状況を把握するための調査を行う。

(6) その他、必要に応じて調査分析を行う。

(2) 事業報告

① 玄米品位調査

地域別・品種別の玄米、試料数1537 点の玄米品質分析を行い、原料玄米の評価指標となる分析データの情報提供を行った。玄米品質調査の結果はメールマガジン及びホームページに掲載した。

② 精米品位調査

9 月から調査を開始し、2 月末までに4335 点の情報をメールマガジン及びホームページに掲載した。

③ 精米加工性調査

8 月から調査を開始し、2 月末までに51 点の調査結果をメールマガジン及びホームページに掲載した。

④ 大型精米工場の実態調査

2023年度のとう精経費の調査は、87工場から調査票の提出があり、記載内容が不十分であった12工場を除いた75工場を集計したところ、精米1トン当たりのとう精経費は、18,399円で、前年より461円(2.6%)増加した。調査結果は「精米工業」No.324(2025年1月号)に掲載した。

⑤ エネルギー使用状況調査

2023年度のエネルギー使用量調査は、126工場から回答があり、精米1トン当たりの電気使用量及び1工場当たりの原油換算使用量、温室効果ガス排出量の集計を行ったところ、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量は、昨年よりもやや低い結果となった。

なお、調査結果は「精米工業」No.323(2024年10月号)に掲載した。

8. 研究・開発活動の実施

(1) 事業計画

- (1) 食味から考えた適正な搗精度を研究する。
- (2) その他、必要に応じて研究・開発を行う。

(2) 事業報告

食味と搗精度の関係を分析し、食味の観点から適正な搗精度を導き出すため、複数品種で歩留を変えて食味試験を行い、結果は「精米工業」No.325(2025年4月号)に掲載予定である。

9. 会員への情報提供の充実と一般への広報

(1) 事業計画

(1) 広報・出版活動

① 会報「精米工業」の発行

広報誌「精米工業」を年間4回(4月・7月・10月・1月)発行する。

② メールマガジンの発行

米を取り巻く情勢等の最新ニュースをお知らせする。

③ ライスミュージアムの見直し

昨事業年度に策定した精米JAS規格に関連する鑑定写真等を掲載し、精米JAS品質基準確認の活用に供するほか、必要な内容の見直しを行う。

(2) 広報

ホームページほか、消費者団体機関誌等を通じて本会の活動について広報する。

(2) 事業報告

① 広報・出版活動

ア 会報「精米工業」の発行

№.321（2024年4月）から№.324（2025年1月）まで4回発行した。

イ メールマガジンの発行

米を取り巻く情勢等の最新ニュースを№.519号（2024年4月）から№.542号（2025年3月）まで24回発信した。

ウ ライスミュージアムの見直し

全体的な見直しを計画したが、精米JASの改正が予定されたことから、精米JAS品質基準に係る鑑定写真については、全体的な改訂に先んじて会員宛てにデータで送信し、利用に供した。

② 広報

主婦連合会の機関誌（月刊）に毎月、広告を掲載した。

10. 物資斡旋

（1）事業計画

精米工場において、原料や製品の品質分析や製品の食味評価を実施する際に必要な検査器具、薬品、機器等を廉価で斡旋する。

（2）事業報告

従来の斡旋品のほか、精米工場での実地試験を通して一定の効果が確認できたネズミ忌避剤等の斡旋を行った。

事業報告附属明細書

2024年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

貸 借 対 照 表

2025年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金	196,222	17,739	178,483
当座預金	880,899	483,651	397,248
普通預金	8,942,977	6,351,538	2,591,439
定期預金	205,859,299	203,684,899	2,174,400
未収金	3,376,650	4,823,500	△ 1,446,850
立替金	1,136,177	1,225,599	△ 89,422
前払費用	1,240,664	1,199,608	41,056
流動資産合計	221,632,888	217,786,534	3,846,354
2. 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
運営基金引当資産	90,000,000	90,000,000	0
減価償却引当資産	9,169,023	9,043,206	125,817
退職給付引当資産	98,971,678	91,272,742	7,698,936
特定資産合計	198,140,701	190,315,948	7,824,753
(2) そ の 他 固 定 資 産			
保証金	6,200,800	5,587,000	613,800
什器備品	655,890	563,907	91,983
抛入金	3,000,000	3,000,000	0
電話加入金	204,000	204,000	0
その他固定資産合計	10,060,690	9,354,907	705,783
固定資産合計	208,201,391	199,670,855	8,530,536
資 産 合 計	429,834,279	417,457,389	12,376,890
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	1,062,781	1,700,345	△ 637,564
前受金	250,800	243,100	7,700
預り金	686,306	4,321,868	△ 3,635,562
流動負債合計	1,999,887	6,265,313	△ 4,265,426
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	98,971,678	91,272,742	7,698,936
固定負債合計	98,971,678	91,272,742	7,698,936
負 債 合 計	100,971,565	97,538,055	3,433,510
III. 正 味 財 産 の 部			
1. 一 般 正 味 財 産	328,862,714	319,919,334	8,943,380
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(99,169,023)	(99,043,206)	(125,817)
正 味 財 産 合 計	328,862,714	319,919,334	8,943,380
負債及び正味財産合計	429,834,279	417,457,389	12,376,890

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
①受取入会金	60,000	100,000	△ 40,000
第1種会員受取入会金	20,000	80,000	△ 60,000
第2種会員受取入会金	40,000	0	40,000
賛助会員受取入会金	0	20,000	△ 20,000
②受取会費	95,086,000	96,941,000	△ 1,855,000
第1種会員受取会費	84,316,000	85,981,000	△ 1,665,000
第2種会員受取会費	3,630,000	3,460,000	170,000
賛助会員受取会費	7,140,000	7,500,000	△ 360,000
③事業収益	43,785,669	48,319,408	△ 4,533,739
品質管理強化事業収益	22,605,000	23,650,000	△ 1,045,000
研修・講習事業収益	16,010,500	19,191,100	△ 3,180,600
受託・支援事業収益	3,306,383	4,305,716	△ 999,333
物資斡旋事業収益	1,863,786	1,172,592	691,194
④雑収益	5,688,886	4,900,866	788,020
受取利息	44,142	6,864	37,278
広告料収益	4,524,582	3,949,832	574,750
刊行物販売収益	395,846	609,356	△ 213,510
雑収益	724,316	334,814	389,502
経常収益計	144,620,555	150,261,274	△ 5,640,719
(2)経常費用			
①事業費	110,654,659	103,794,807	6,859,852
役員報酬	20,220,108	17,670,108	2,550,000
給料手当	43,210,448	41,172,551	2,037,897
退職給付費用	5,389,255	4,968,498	420,757
厚生費	9,038,722	8,536,825	501,897
会議費	8,382,984	8,355,090	27,894
旅費交通費	5,519,641	5,216,874	302,767
通信運搬費	1,706,904	1,744,755	△ 37,851
什器備品費	294,502	793,752	△ 499,250
消耗品費	699,392	662,054	37,338
修繕費	112,981	93,214	19,767
図書・印刷製本費	2,376,772	2,403,337	△ 26,565
光熱水料費	14,307	13,631	676
賃借料	10,629,564	9,858,948	770,616
諸謝金	372,565	320,359	52,206
租税公課	20,600	0	20,600
減価償却費	125,817	86,506	39,311
負担金支出	51,000	61,000	△ 10,000
普及活動費	1,472,800	913,800	559,000
支払手数料	224,982	87,456	137,526
雑費	791,315	836,049	△ 44,734

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管 理 費	25,022,516	22,980,850	2,041,666
役 員 報 酬	4,380,012	3,930,012	450,000
給 料 手 当	5,500,362	5,381,700	118,662
退 職 給 付 費 用	2,309,681	2,129,356	180,325
厚 生 費	1,340,506	1,225,991	114,515
会 議 費	710,127	632,315	77,812
旅 費 交 通 費	1,235,600	1,097,252	138,348
通 信 運 搬 費	475,921	366,405	109,516
什 器 備 品 費	149,600	39,600	110,000
消 耗 品 費	120,801	99,329	21,472
修 繕 費	23,100	539,550	△ 516,450
図 書 ・ 印 刷 製 本 費	760,677	213,619	547,058
賃 借 料	2,740,991	2,548,337	192,654
保 険 料	103,743	100,059	3,684
租 税 公 課	2,695,647	2,001,342	694,305
負 担 金 支 出	122,375	122,375	0
寄 付 金 支 出	0	300,000	△ 300,000
交 際 費	568,550	560,412	8,138
支 払 手 数 料	1,445,025	1,433,306	11,719
雑 費	339,798	259,890	79,908
経 常 費 用 計	135,677,175	126,775,657	8,901,518
当 期 経 常 増 減 額	8,943,380	23,485,617	△ 14,542,237
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	8,943,380	23,485,617	△ 14,542,237
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	319,919,334	296,433,717	23,485,617
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	328,862,714	319,919,334	8,943,380
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	328,862,714	319,919,334	8,943,380

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産は定率法により償却している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の経理処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
運 営 基 金 引 当 資 産	90,000,000	0	0	90,000,000
減 価 償 却 引 当 資 産	9,043,206	125,817	0	9,169,023
退 職 給 付 引 当 資 産	91,272,742	7,698,936	0	98,971,678
小 計	190,315,948	7,824,753	0	198,140,701
合 計	190,315,948	7,824,753	0	198,140,701

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特 定 資 産				
運 営 基 金 引 当 資 産	90,000,000	()	(90,000,000)	()
減 価 償 却 引 当 資 産	9,169,023	()	(9,169,023)	()
退 職 給 付 引 当 資 産	98,971,678	()	()	(98,971,678)
小 計	198,140,701	(0)	(99,169,023)	(98,971,678)
合 計	198,140,701	(0)	(99,169,023)	(98,971,678)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	9,824,913	9,169,023	655,890
合 計	9,824,913	9,169,023	655,890

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	91,272,742	7,698,936	0	0	98,971,678
合 計	91,272,742	7,698,936	0	0	98,971,678

財 産 目 録

2025年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 座 預 金	196,222		
ゆ う ち よ 銀 行 金	880,899		
普 通 預 金			
み ず ほ 銀 行 麹 町 支 店	7,012,046		
三 菱 UFJ 銀 行 麹 町 中 央 支 店	1,490,890		
三 井 住 友 銀 行 麹 町 支 店	435,971		
三 井 住 友 信 託 銀 行 本 店 営 業 部	4,070		
定 期 預 金			
み ず ほ 銀 行 麹 町 支 店	126,028,322		
三 菱 UFJ 銀 行 麹 町 中 央	69,830,977		
三 井 住 友 銀 行 麹 町	10,000,000		
未 収 金			
精 米 HACCP 継 続 維 持 審 査 料 外	3,376,650		
立 替 金			
雇 用 保 険 料 外	1,136,177		
前 払 費 用			
従 業 員 定 期 代 外	1,240,664		
流 動 資 産 合 計		221,632,888	
2. 固 定 資 産			
特 定 資 産			
運 営 基 金 引 当 資 産			
三 井 住 友 銀 行 麹 町 支 店	10,000,000		
三 井 住 友 信 託 銀 行 本 店 営 業 部	80,000,000		
減 価 償 却 引 当 資 産			
三 菱 UFJ 銀 行 麹 町 中 央 支 店	9,169,023		
退 職 給 付 引 当 資 産			
み ず ほ 銀 行 麹 町 支 店	98,971,678		
そ の 他 の 固 定 資 産			
保 証 金			
全 国 米 穀 販 売 事 業 共 済 (協)	6,200,800		
什 器 備 品			
米 粒 判 別 機 外	655,890		
抛 出 金			
一 般 社 団 法 人 日 本 精 米 検 査 認 証 協 会	3,000,000		
電 話 加 入 金	204,000		
固 定 資 産 合 計		208,201,391	
資 産 合 計			429,834,279
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金			
3 月 分 社 会 保 険 料 外	1,062,781		
前 受 金			
研 修 会 費	250,800		
預 り 金			
源 泉 所 得 税 等	686,306		
流 動 負 債 合 計		1,999,887	
2. 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	98,971,678		
固 定 負 債 合 計		98,971,678	
負 債 合 計			100,971,565
III. 正 味 財 産 の 部			328,862,714

収 支 計 算 書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 入 会 金 収 入	60,000	60,000	0
第1種会員入会金収入	20,000	60,000	△ 40,000
第2種会員入会金収入	40,000	0	40,000
② 会 費 収 入	95,086,000	96,940,000	△ 1,854,000
第1種会員会費収入	84,316,000	86,100,000	△ 1,784,000
第2種会員会費収入	3,630,000	3,460,000	170,000
賛助会員会費収入	7,140,000	7,380,000	△ 240,000
③ 事 業 収 入	43,785,669	45,970,000	△ 2,184,331
品質管理強化事業収入	22,605,000	23,710,000	△ 1,105,000
研修・講習事業収入	16,010,500	16,710,000	△ 699,500
受託・支援事業収入	3,306,383	4,550,000	△ 1,243,617
物資斡旋事業収入	1,863,786	1,000,000	863,786
④ 雑 収 入	5,688,886	5,320,000	368,886
利 息 収 入	44,142	10,000	34,142
広 告 料 収 入	4,524,582	4,410,000	114,582
刊行物販売収入	395,846	550,000	△ 154,154
雑 収 入	724,316	350,000	374,316
事業活動収入計	144,620,555	148,290,000	△ 3,669,445
2. 事業活動支出			
① 事 業 費 支 出	105,357,387	107,910,000	△ 2,552,613
役 員 報 酬	20,220,108	20,230,000	△ 9,892
給 料 手 当	43,210,448	44,790,000	△ 1,579,552
厚 生 費	9,038,722	9,320,000	△ 281,278
会 議 費	8,382,984	8,895,000	△ 512,016
旅 費 交 通 費	5,519,641	6,525,000	△ 1,005,359
通 信 運 搬 費	1,706,904	1,910,000	△ 203,096
什 器 備 品 費	512,302	460,000	52,302
消 耗 品 費	699,392	855,000	△ 155,608
修 繕 費	112,981	100,000	12,981
図 書 ・ 印 刷 製 本 費	2,376,772	2,400,000	△ 23,228
光 熱 水 料 費	14,307	15,000	△ 693
賃 借 料	10,629,564	9,860,000	769,564
諸 謝 金	372,565	450,000	△ 77,435
租 税 公 課	20,600	0	20,600
負 担 金 支 出	51,000	60,000	△ 9,000
普 及 活 動 費	1,472,800	1,200,000	272,800
支 払 手 数 料	224,982	90,000	134,982
雑 費	791,315	750,000	41,315

(単位：円)

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
②管 理 費 支 出	22,712,835	22,782,000	△ 69,165
役 員 報 酬	4,380,012	4,390,000	△ 9,988
給 料 手 当	5,500,362	5,510,000	△ 9,638
厚 生 費	1,340,506	1,395,000	△ 54,494
会 議 費	710,127	800,000	△ 89,873
旅 費 交 通 費	1,235,600	1,500,000	△ 264,400
通 信 運 搬 費	475,921	500,000	△ 24,079
什 器 備 品 費	149,600	100,000	49,600
消 耗 品 費	120,801	120,000	801
修 繕 費	23,100	100,000	△ 76,900
図 書 ・ 印 刷 製 本 費	760,677	900,000	△ 139,323
賃 借 料	2,740,991	2,550,000	190,991
保 険 料	103,743	109,000	△ 5,257
租 税 公 課	2,695,647	2,195,000	500,647
負 担 金 支 出	122,375	123,000	△ 625
交 際 費	568,550	640,000	△ 71,450
支 払 手 数 料	1,445,025	1,500,000	△ 54,975
雑 費	339,798	350,000	△ 10,202
事 業 活 動 支 出 計	128,070,222	130,692,000	△ 2,621,778
事 業 活 動 収 支 差 額	16,550,333	17,598,000	△ 1,047,667
Ⅱ 投 資 活 動 収 支 の 部			
1. 投 資 活 動 収 入			
投 資 活 動 収 入 計	0	0	0
2. 投 資 活 動 支 出			
① 特 定 資 産 取 得 支 出	7,824,753	7,780,000	44,753
退職給付引当資産取得支出	7,698,936	7,700,000	△ 1,064
減価償却引当資産取得支出	125,817	80,000	45,817
② 固 定 資 産 支 出	613,800	0	613,800
保 証 金 支 出	613,800	0	613,800
投 資 活 動 支 出 計	8,438,553	7,780,000	658,553
投 資 活 動 収 支 差 額	△ 8,438,553	△ 7,780,000	△ 658,553
Ⅲ 財 務 活 動 収 支 の 部			
1. 財 務 活 動 収 入			
財 務 活 動 収 入 計	0	0	0
2. 財 務 活 動 支 出			
財 務 活 動 支 出 計	0	0	0
財 務 活 動 収 支 差 額	0	0	0
Ⅳ 予 備 費 支 出	0	0	0
当 期 収 支 差 額	8,111,780	9,818,000	△ 1,706,220
前 期 繰 越 収 支 差 額	211,521,221	211,521,221	0
次 期 繰 越 収 支 差 額	219,633,001	221,339,221	△ 1,706,220

収支計算書に対する注記

(注) 1. 資金の範囲

資金の範囲には現金預金・預け金・未払金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	17,739	196,222
当 座 預 金	483,651	880,899
普 通 預 金	6,351,538	8,942,977
定 期 預 金	203,684,899	205,859,299
未 収 金	4,823,500	3,376,650
立 替 金	1,225,599	1,136,177
前 払 費 用	1,199,608	1,240,664
合 計	217,786,534	221,632,888
未 払 金	1,700,345	1,062,781
前 受 金	243,100	250,800
預 り 金	4,321,868	686,306
合 計	6,265,313	1,999,887
次 期 繰 越 収 支 差 額	211,521,221	219,633,001

監 査 報 告

2025年5月13日

一般社団法人日本精米工業会
会 長 木 村 良 殿

監 事 竹 越 正 博 ㊞

監 事 青 木 孝 ㊞

監 事 黒 川 悦 春 ㊞

私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）について監査いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上